


# 園がグランドオープン

世界的彫刻家イサム・ノグチによる設計から17年。  
ノグチの最大にして最後の作品、モエレ沼公園が  
2005年夏、「海の噴水」の完成をもって  
グランドオープンします！  
海の噴水は、さまざまな水の動きで海を表現する、  
道内最大級の噴水です。  
今回はグランドオープンのイベント情報と併せて  
モエレ沼公園の魅力をお伝えします。



すごい  
噴水だね！

「海の噴水」  
photo/Koji Yanagisawa

## 公園全体がひとつの彫刻です ~1988年6月20日記者会見での発言

モエレ沼は、もともとはごみの処理場。1988年(昭和63年)3月に初めて札幌を視察に訪れたノグチは、モエレ沼に強い興味を抱き、長年の夢であったプレイグラウンド(遊び場)を実現させるべく、壮大な公園を計画します。

ノグチはマスタープラン(基本計画)を完成させた直後に急逝してしましますが、その遺志は市や関係者にしっかりと継承され、17年のときを経て、この夏、ついに完成の日を迎えます。

公園総面積は189<sup>ヘクタール</sup>。ガラスのピラミッド、山、噴水、遊具などが美しく配置され、全体が一つの彫刻のようです。

### ●イサム・ノグチ (1904-1988)

ロサンゼルス生まれ。日本人の父とアメリカ人の母を持ち、2歳で来日。13歳で渡米した後、彫刻家を志し、アジア・ヨーロッパを回って見聞を広める。肖像・舞台美術から庭園や空間彫刻まで幅広く活動。「地球を彫刻した男」と呼ばれる。代表作に「ユネスコ本部庭園」(パリ)、「ベイ・フロント・パーク」(マイアミ)などがある。

イサム・ノグチ(1986年)  
提供:イサム・ノグチガーデンミュージアム